



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行

インターネットでも
ご覧いただけます。

強雨で市内でも被害

磯原町木皿などで床上・床下浸水

さる6月16日の強い雨による被害については前号でも速報しました。19日現在の集約によると、被害状況は次のとおりです。

磯原町木皿地区のときわ団地で床上浸水が2棟、床下が14棟でした。また、下相田地区と大津北町でもそれぞれ2棟が床下まで水に浸かりました。市では翌日

から2日間かけて、ときわ団地内全域の消毒作業を実施しました。

農林関係では、市内水田面積の30%が水をかぶりましたが、直接被害は報告されていません。いっぽう、ビニールハウスが水に浸かってトマトが全滅する被害が出ています。

さらに市内6ヶ所で崖崩

れが発生し、倉庫など3棟が被害を受けました。公共施設では道路や河川など31ヶ所1060万円の被害となっています。なお復旧には、国などの補助の基準に達しないため、市単独の予算支出とならざるをえない見込みです。

*

巨費を投じた小山东ダムが、いわば水害対策だけを唯一の名目として完成しましたが、その直後の水害です。ときわ団地などは常襲地域であり、抜本対策を求める声は以前から切実です。使うあてのない水をた



子育て体験トーク

「子育て体験トーク・のびっこゼミ」は、市生涯学習・家庭教育部会の事業。若いお母さんたちの日頃の子育ての悩みや疑問を出し合う機会をつくっています。身近な先輩母親のスタッフと井戸端会議のように話し合いをしています。(6月21日、関本公民館)



「お船会館」

第一期工事は完成
ただし利用は来年から

市民から強い批判も出された漁業歴史資料館(お船会館)を産業委員会が視察しました。すでに第一期工事として、研修棟が完成しています。しかし浄化槽などの工事が第二期分にまわったため、その完成を待つ、使えるのは来年からの説明でした。

鈴木やす子議員の一般質問から

6月議会での、鈴木やす子議員の一般質問の概要を2回に分けて紹介します。

明德小・特別棟の開放について

「鈴木やす子議員」明德小学校は、新体育館も竣工し、この3月から全面的に使用が始まった。工事も終

めるダムなどでなく、本当に必要なところにこそ予算をまわすべきです。

わり、安全面からの障害もなくなったところで、いよいよ本格的に校舎開放が進むことを期待する。条例や管理規定の見直し、セキュリティ整備について進捗状況をうかがう。

通学路の安全、危険箇所への検討

「鈴木やす子議員」通学路、とくに農業用排水路を中心とした危険箇所について、関係機関が情報交換し、整備計画を立てることを以前にも提起した。児童の転落事故がまた起きていく。改めて協議の場を設定し、整備に努めてほしい。

管理はシンドラー社

市役所のエレベーター

エレベーターについて総務委員会で質疑がありました。市役所に設置されているのは、日本エレベーター工業製で、管理も同社でした。その後、同社はシンドラー社に吸収され、保守・管理も移行しています。事故報道を受けた精密な点検でも、異常はなかったとのこと。1年ごとの契約ですが、変更の予定はありません。ひきつづき、十分な対応を望むところです。

「鈴木議員」不審者対策として、学校ごとに安全ボランティアの組織づくりが始まった。情報交換や研修を支援できないか。「教育次長」防犯教室への参加を呼びかけるなど、積極的に取り組んでいく。